



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

—大切な子ども、大切な人を戦場に送らせない—

アオーレ長岡前で
12・8全国行動

平和を守る母親連鎖行動



12/8 「平和を守る母親連鎖行動」アオーレ前

12月8日、アオーレ長岡で、新日本婦人の会が中心になって「大切な子ども、大切な人を戦場に送らない」をスローガンに、12・8平和を守る母親連鎖行動が取り組まれました。
18人の参加者は、プラカードを掲げ、道ゆく市民に「(模擬)赤紙」を配りながら、戦前、赤紙で招集され戦場に駆り出されて命を奪われた痛ましい記憶、再びこのような惨禍を繰り返さないために、みんなで戦争と平和を考えようというアピール。全国で連鎖行動が取り組まれました。

県民投票条例制定を求める署名の取り組み

長岡で署名活動交流集会を開催

12月2日、県民投票条例制定を求める署名活動の経験交流集会が開催されました。

安全とリスク(危険)が不平等な社会

「新潟で県民投票を実現する意義」と題して、国際情報大学の佐々木寛教授が基調講演されました。

「原発には2つのリスク。その1、万一事故があったときには、リスク(危険)はその原発周辺の住民に押し付けられるが、その電気を使っているのは首都圏の住民であるということ。
福島第一原発事故でセシウム137が大気中に拡散されたが、これは広島原爆168発分なんです。核戦争に匹敵することを、私たちは認識すべきですね。
その2、世代間の不平等。原発は事故が起きたら、今

は有権者ではない、子や孫の世代にも影響が及ぶ。子や孫の世代に、負の遺産を押し付けてよいのか。」

【活動の経験発表】

◆お寺のご住職にお願いをしたら、たくさん集めてくださった。
◆年寄りになつての仕事として頑張つて集めている。私でもできるのだから、皆さん頑張りますよ。

◆お店に来る人、皆さんにお願いしています。再稼働に反対、賛成といろいろな方がいらつしやるけれど、署名をお願いしています。
◆大勢の方に受任者をお願いした。原発事故は起きると悲惨である。こんなリスクは孫に絶対に残したくない。頑張ります。

◆お店に来る人、皆さんにお願いしています。再稼働に反対、賛成といろいろな方がいらつしやるけれど、署名をお願いしています。
◆大勢の方に受任者をお願いした。原発事故は起きると悲惨である。こんなリスクは孫に絶対に残したくない。頑張ります。

県民投票条例制定を求める署名活動

12月9日現在の長岡の署名到達6,160筆です。
※署名は12月28日まで可能。頑張りますよ。

遠藤れい子の笑顔でファイト

さらに中之島ふるさと守り隊の皆さんが猛奮闘され、中之島全体で216人の受任者となりました。

県民投票条例制定を求める署名活動で、共産党中之島支部は、署名を集めてくださる受任者を大勢作ろうとみんなで手分けしてお願ひしました。皆さん快く引き受けてくださり、受任者は108人。

街宣の後に自動車を降りて署名集め



12/3訪問する遠藤れい子

者となりました。受任者が増えれば、署名も集まります。
12月3日は、街宣カーで署名協力を訴えた後、自動車を降りて署名のお願いに各家庭を回って、14筆の署名をいただくことができました。